

ぐるめ散歩

そば

弥助そば

狛江消防署猪方出張所近くの水道道路に面し、周りに畑が残る静かな環境に恵まれた同店は、日本そばをはじめとした麺類やご飯物など豊富なメニューを提供し、55年にわたって多くの地元の人たちに親しまれている。

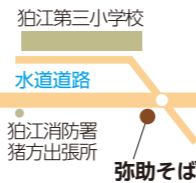
店内はゆったりと落ち着いた雰囲気、20畳敷きの座敷は30人程度が座れるため、宴会やパーティーなどに利用するグループも多い。

料理は価格がリーズナブルで、



弥助そばのスタッフ

☎3480-8856 駒井町1-15-6 営業=午前11時~午後2時30分・夜(午後5時~8時)は出前と予約のみ 木曜日休み



狛江第三小学校
水道道路
狛江消防署猪方出張所
弥助そば

豊富なメニューで親しまれ55年 毎日自家製麺し地元の野菜使う



ボリュームがあるため、若い人にも好評だ。丁寧な調理を心がけており、そばだけでなく、うどんや中華麺も毎日、自家製麺し、かつお節を使って出し汁をとる。また、野菜も新鮮な駒井町産を使うよう心がけている。

店での営業は午前11時~午後2

時30分で、夜は予約をすれば利用できる。

店主の中島正弥さん(54)によると、そばはカルシウム、カリウム、鉄分などが多いため、子どもの成長促進に役立つ

ほか、大人には老化を防ぐビタミンEや血圧を下げるといわれるルチン、髪や爪などを元気にするシリカなども含んでいるという。中島さんは「市内のそば店に通って、日本の伝統食であるおいしいそばをたくさん食べて健康になってください」と話している。

おすすめMENU

- ①カツ合せ重¥1,200
 - ②かもせいろ ¥1,000
 - ③かも南蛮そば ¥1,000
 - ④天ぷらそば ¥1,000
 - ⑤カツカレー ¥1,100
- ／納豆そば ¥900 / カレーそば ¥900 (税込み)

狛江三中が創立50周年 生徒が主体で記念式典

狛江第三中学校(工藤聡校長、生徒294人)が創立50周年を迎え、11月2日(日)に全校生徒や保護者など約600人が出席し、エコルマホールで記念式典を催した。

同中は昭和48年に新1年生170人と、前年に狛江第一中学校、狛江第二中学校に通っていた2、3年生合わせて355人で開校、これまで6,724人の卒業生を送り出した。

式典では、工藤校長が同校の歴史や30年以上続く银杏募金、狛江駅前プランター緑化活動などを紹介し「伝統と格式を大切にしながら三中愛を大切にしてこれからも前進したい」と挨拶。松原俊雄市長が「生徒の皆さんは银杏募金などを通して多くの経験を積み、この学びやから羽ばたき、大きな活躍をしている。次の時代に向け50周年を新たな出発点にしていただきたい」と祝辞を述べた。

白井誠PTA会長は、AIで作った挨拶文を披露するなどユーモアを交えながら「自分だけの経験を積んで大人になり、成人した後にも同級生と笑い合えるよう互いに思い合って下さい」と生徒にエールを送った。創立50周年記念として、PTAや同窓会から体育館で使う椅子120脚、テント2張りなどが贈られた。

式典は生徒が主体となって催され、オープニングに第45回卒業生で桐朋音楽大学に通う上見真理子さんがバイオリンで「情熱大陸」や「チャルダッシュ」などを演奏した。また、2、3年生がベートー



生徒全員で合唱を披露

ヴェンの交響曲第九番をドイツ語で歌ったほか、生徒全員で嵐が歌った「ふるさと」や校歌を披露した。午後は、骨肉腫と闘いながら高校受験などに立ち向かった同校卒業生鈴木亜里さんの実話を基に昭和53年に製作された「翼は心に付けて」を全校生徒で鑑賞した。

安田さんがマスターズ準優勝 全日本ウエイトリフティング

狛江市岩戸南の安田順亮さん(79)が9月30日に石川県金沢市で行われた日本ウエイトリフティング協会主催の第41回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会で67kg級の75G(75~79歳)でスナッチ42kg、クリーン&ジャーク53kg、トータル95kgの大会新記録で準優勝を果たした。

安田さんは中学から大学までやっていたウエイトリフティングを狛江市へ転居した6年前に再開した。都のマスターズ大会などに出場し、都大会6連覇中。関東大会にも毎年出場しているが、全国大会は昨年に続いて2回目。

大会では、順亮さんに刺激されてウエイトリフティングを始め、昨年の都大会で優勝した孫の理さん(狛江第三小学校5年)がセコンド(介添人)を務め、祖父の成績の向上にひと役かったという。

順亮さんの目標は、マスターズ世界大会でのメダル獲得。コロナ禍の影響で中止された日本での開催が、令和7年に愛媛県で開かれることになった。順亮さんは来年、リハーサルを兼ねて開か

まち



賞状とメダルを手にする安田さん

れる愛媛県の大会に出場して優勝し、世界大会の切符を手にとろうと、意欲を燃やしている。順亮さんは「年齢を重ねると気力や体力が落ちますが、日本で行われる大会に必ず参加してメダルを取りたい」と意気込んでいる。

議場に響く箏の音 狛高生が演奏披露

狛江市議会主催の議場コンサートが11月9日(日)に催され、都立狛江高等学校箏曲部(綿貫想夏部長)の部員9人が議員席の前で市の歌「水と緑のまち」、沢井忠夫作曲「百花譜-春、夏、秋、冬」を演奏。議員席や傍聴席に座った市民など約50人は静かに耳を傾けていた。

このコンサートは、市民に議会へ足を運んで市議会への関心を高めてもらおうと令和元年から開かれており今回で5回を数える。



議場で演奏する狛高箏曲部

新年は籠屋の美酒で

華体 缶クラフトビール 350ml ¥528 円

國平 出雲富士 特別純米火入 籠屋限定 720ml ¥1,550 円

写楽 純 愛仕込み 純米火入 720ml ¥1,700 円

宝山 黄金牛 乙25° 完熟 芋麹全量 720ml ¥2,178 円

アルカーノ 甲州 2023 ヌーボーワイン 750g ¥2,000 円 (価格は消費税別)

日本の文化である地酒(日本酒と焼酎)専門店 <https://kago-ya.net>

籠屋(有)秋元商店 月曜定休・営業時間10:00~20:00(日祝10:00~19:00) 〒201-0016 狛江市駒井町3-34-3 電話:03-3480-8931 FAX:03-3489-2044

みこし、はやしが4年振りに再開 68,000人が市民まつり楽しむ



一小のふるさとで広場で氣勢を上げるみこし

「第47回狛江市民まつり」(同実行委員会主催)が11月12日(日)、狛江第一小学校、狛江市役所、市民グラウンド、えきまえ広場などで開催され、昨年より約18,000人多い約68,000人が楽しんだ。

農業祭・創作展・スポーツ祭・市民祭・商工祭を中心としたイベントで、コロナ禍の間は規模を縮小したが、今年は4年振りにコロナ禍前の規模での開催となった。

小学校の鼓笛隊などのパレードに加え、市内の神社とボーイスカ

ウトのみこし7基とはやしが本町通りなどを練り歩き、祭ムードを盛り上げた。一小のふるさとステージではオープニングセレモニーに続いて松原俊雄市長らが鏡開きを行い開会を祝った。ステージではヒーローショーや郷土芸能のはやし競演、フラダンスやジャズなどが披露された。校庭では農業祭として農産物品評会や宝船の宝分け、野菜などの産直が行われた。

また、ふるさと友好都市の新潟県長岡市川口地域、住民交流友好都市の山梨県小菅村などの物産展や市民団体など40店舗の出店に列ができていた。体育館でのミニ四駆の製作とレースも人気を集め

ていた。市役所の商工祭では、市内の事業所や市民団体など25店舗が販売を行った。

市民センターの創作展では11日(日)から絵画や手工芸品、盆栽などが展示され、狛江高等学校茶道部がお点前を披露した。

本町通りではストリートライブ、踊り、消防ふれあい広場、グリーンスローモビリティやこまバスの展示が行われた。

市民グラウンドではスポーツ祭が開かれ、家族連れなどがトランポリン、キックターゲットなどを楽しんだ。

今回新たに会場としてエコルマホールが加わり、市内で活動している舞踊などの団体に加え狛江高校ダンス部も出演、客席から大きな拍手が送られていた。